

科目名	沖縄高専セミナー		英文表記	ONCT Seminar		23年3月22日		
科目コード	1016							
教員名：機械【山城（光），鳥羽】，情報【杉本，兼城】，メディア【角田，伊波，鈴木】，生物【工藤，田中，三宮】						作成		
技術職員名：佐竹卓彦，比嘉修								
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科			1年	必	履修	2単位	講義	前期
目標及び評価方法	目標項目				評価方法及びその割合			
	①全学科の概要を理解する事により，専門の異なる人の考え方を理解する。				①ミニ概論レポート（5%）			
	②各専門学科に関連する身近な商品（工業製品）の考え方を学び，技術に対する幅広い				②各学科固有技術に関するレポート・発表（85%）			
	③企業見学などを通じて産業社会を理解する。				③企業見学レポート（10%）			
	④PBL授業を通じて自己学習力，発表能力を身につける。				④上記②に含む			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	全プログラム		
		◎		○	JABEEプログラム教育目標			
授業概要、方針、履修上の注意	各専門学科で学ぶ授業科目の構成と概要を理解する。 各専門学科に関連する身近な商品を分解（一部は組立）または解析しながら，その構造と構成技術を理解する。 各自が興味を感じた技術を調査し，その結果を発表する。 異分野を含めた沖縄県の企業を調査・見学し，社会構造と産業の実態を理解し，幅広い視野を育成する。（*各学級及び各学科同時開講方式）							
教科書・教材	各学科にて作成のテキスト、電子ファイル							
<b>授 業 計 画</b>								
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目	
1	全体ガイダンス(ミニ概論)	4	高専セミナーおよび各学科のガイダンスと学科					
2	環境エネルギー問題と機械技術のあゆみ (機械システム工学科)	12	左記の題材を切り口に，産業革命時代から現在に至るまでの機械技術の進歩・変遷について解説する。また，モーターの分解をとおして電気発生のしくみ，新エネ，火力および原子力発電の仕組みについて学習し，“理科の知識”を再確認しながら，科学技術の両面性(明と暗)について考えて欲しい。					
3	デジタルカメラの技術 (情報通信システム工学科)	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の狙い，従来カメラと情報機器としてのデジタルカメラの説明</li> <li>・デジタルカメラの構造と構成1(入力，出力部)の講義，デジカメ実習</li> <li>・構成2(CPU,LSI,画像処理部)の講義，技術調査，デジカメ実習</li> <li>・構成3(周辺装置)の講義，新商品の仕様書作成，デジカメ実習</li> <li>・発表準備，発表会，講評</li> </ul>					
4	第1回企業調査，見学	4	授業内容に関連する企業の事前調査と見学を行い，レポートを提出。					
5	情報を伝える技術 (メディア情報工学科)	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の狙いの説明</li> <li>・コンテンツ制作，コンピュータの構成，インターネットの仕組みなど情報を伝えるための最新技術を理解する。</li> <li>・レポート作成</li> </ul>					

6	生物化学の基礎実験 (生物資源工学科)	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の狙いの説明、ガスバーナーの使い方、炎色反応</li> <li>・身近にいる細菌の採取、細菌の培養</li> <li>・顕微鏡の使い方</li> </ul>	
7	第2回企業調査, 見学 レポート作成	4	授業内容に関連する企業の事前調査と見学を行い, レポート提出。	
<b>学習時間合計</b>		<b>60</b>	<b>実時間</b>	<b>50</b>
<b>学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)</b> 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)